

# 業況観測アンケート（2023年度 第2四半期）調査結果

（前年同期比）

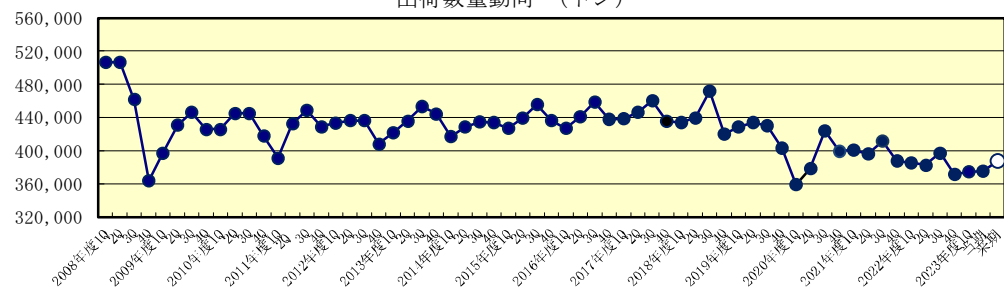
集計企業数 33社

2023/10/17

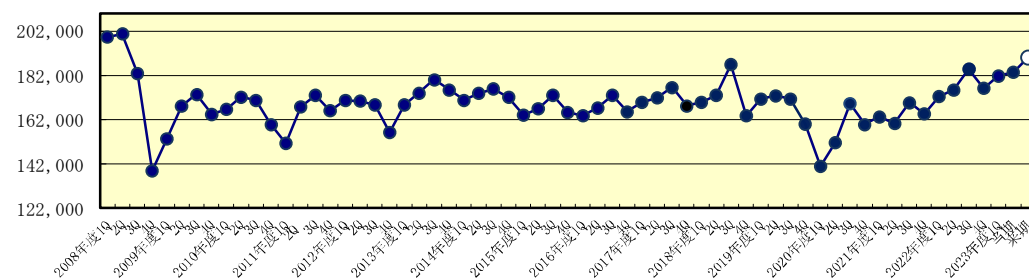
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	9.3	9.3	0.0	0.4	0.0
+10%~+15%未満	0.0	0.0	0.0	8.8	8.1	0.1	0.3	0.5	0.5	11.8	11.1	0.2
+5%~+10%未満	2.6	0.1	2.5	16.1	6.4	14.2	11.7	0.3	1.5	3.4	5.2	14.2
+5%未満	17.8	11.2	0.9	2.0	13.9	13.1	2.7	4.1	3.4	4.3	3.9	7.1
±0%	0.0	1.6	2.4	0.2	1.0	1.4	4.2	4.9	4.7	11.2	11.7	10.9
-5%未満	7.1	16.1	24.2	3.7	2.1	1.0	13.0	3.6	12.7	0.6	0.0	0.0
-5%~-10%未満	3.9	3.6	2.4	0.0	1.2	2.8	0.0	9.8	0.8	0.0	0.4	0.4
-10%~-15%未満	1.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



# 業種別動向観測アンケート（2023年度第2四半期）調査結果

2023/10/17

(前年同期金額比)

集計企業数 31社

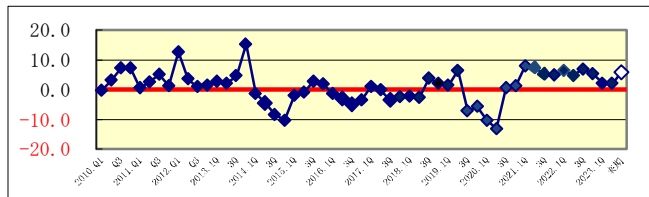
当期(7~9月)実績

建築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィックペイント
		新車	補修					
2.0	-4.7	13.5	12.5	11.8	1.5	-5.4	-5.0	-2.2

## メーカーのコメント例

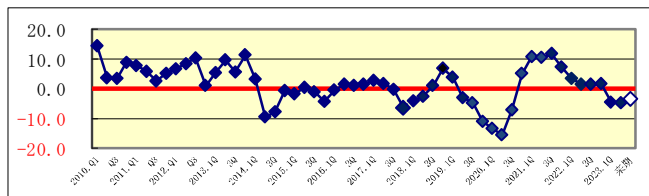
### 建築・外装

・経済活動の正常化や価格転嫁が進み、個人消費の持ち直しもあって回復傾向が続いている。但し価格高騰による買い控えや酷暑、職人不足等マイナスの要素も影響し、伸びとしてはわずかであった。



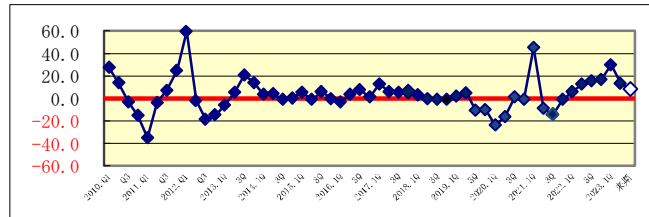
### 建築資材

・住宅価格高騰により戸建て中心に着工件数の落込みが厳しさを増している。メーカーによっては主力のアルミサッシ、コイルコートも低調で全体として前年を下回った。



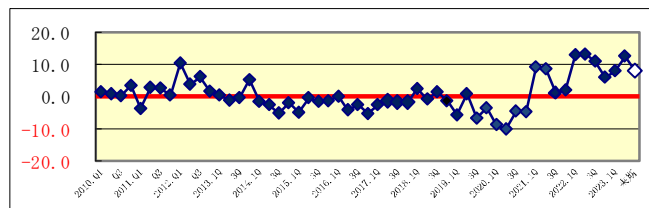
### 新車

・各自動車メーカーにおける車載半導体などの部品調達改善し、自動車生産台数は引き続き増加し、前年比増となった。



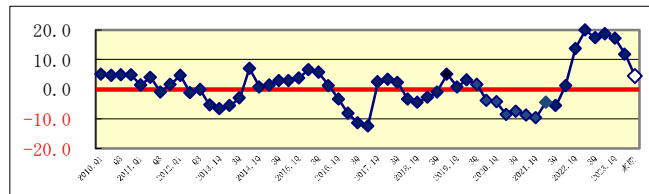
### 補修

・コロナ禍による需要減からかなりの回復傾向が見られた。価格改定や高付加価値製品の販売効果もあり前年を上回る結果となった。地域による斑感はあるものの、全体的には好調に推移している。



### 船舶・構造物

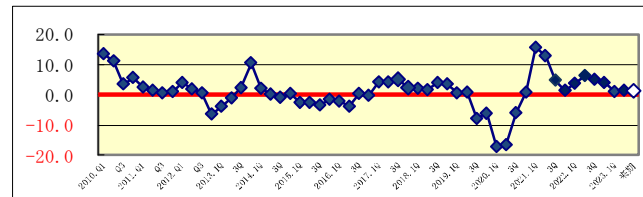
・船舶は新造、修繕共に堅調に推移した。原材料高の価格転嫁が一部で進み、売上や利益を一定水準を確保した。  
・構造物では全般的に堅調であったが、一部では物件獲得の大幅減少も見られている。



## メーカーのコメント例

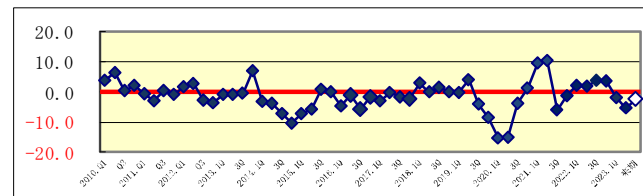
### 機械・電気機械・金属製品

・建機関連、工作機械などが依然不調で全般的に低調に推移した。鋼板価格高騰によるPCM建材市況の停滞もあったが、自動車内装の電装部品や粉体塗料など一部で復調傾向もあり、微増となった。



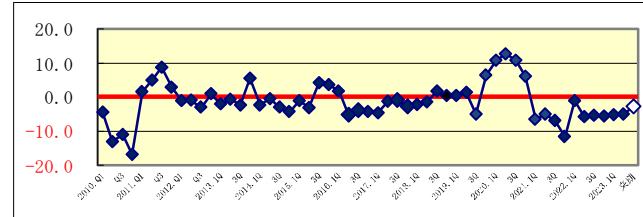
### 木工製品

・木材価格は高止まりの状況が継続しており、家具・木工塗装需要は上がらず物量も減少した。国内、輸出共に前期比でマイナスで推移している。次期の一定の回復に期待する。



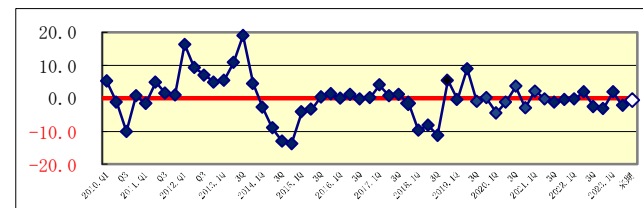
### 家庭用

・一部エアゾール関連で回復基調も見られたが、ホームセンター中心にDIY市場は前年比縮小傾向にある。巣ごもり需要は一服し、物価上昇による節約志向が強まるなどの影響が継続していると見られる。



### トラフィックペイント

・溶融材は順調に推移したが、公共事業を中心に前年並みであり、原材料費、光熱費の高騰で利益的に厳しい状況である。カラー舗装、安全対策用滑り止め需要などの物件は減少傾向であった。



- ◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。
- ◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

### 全体

・金銀面では各分野とも値上げ効果があり伸長した。特に自動車の牽引により前年比増となった。一方の出荷量自体は以前として減少傾向が続いており、世界情勢不安による今後のさらなる原料価格上昇の悪影響が懸念される。

業種別動向観測アンケート（2023年度第2四半期）調査結果

2023/10/17

（前年同期比）

集計企業数 31社

（アンケート値）

集計企業数	建築・外装			建築資材			道路車両						船舶・構造物			機械・電気機械 ・金属製品			木工製品			家庭用			トラフィック ペイント		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	新車			補修			前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
							前期	当期	来期	前期	当期	来期															
+50%超	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
+45%～+50%未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+40%～+45%未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
+35%～+40%未満	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+30%～+35%未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+25%～+30%未満	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+20%～+25%未満	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+15%～+20%未満	1	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+10%～+15%未満	2	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	3	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0
+5%～+10%未満	2	4	5	1	0	1	0	1	0	1	3	2	2	3	2	2	4	4	0	0	0	1	2	1	1	0	0
+5%未満	2	2	2	1	4	2	1	1	2	2	1	2	1	2	1	4	6	6	0	0	0	1	0	2	1	1	1
±0%	3	4	5	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3	0	1	1	0	1	1
-5%未満	5	6	5	0	0	3	0	0	2	1	0	1	1	1	1	3	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1
-5%～-10%未満	0	2	1	3	3	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	4	2	2	2	4	1	0	0	0	1	2	1
-10%～-15%未満	2	0	0	3	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0
-15%～-20%未満	2	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0
-20%超	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0